

8月～10月の予定

月	日	曜	内 容	容 (開催時間)	主 催
8	19	土	納涼会 (16:00～18:00)	のぞみの家駐車場に各施設の自 慢料理がいっぱい! 	3施設合同
9	9	土	ながおか市民活動フェスタ (10:00～)	アオーレ長岡 希望の家のおこわ販売 	市民協働センター
	16 17	土 日	すこやか・ともしびまつり (10:00～)	アオーレ長岡 恒例イベント 希望の家のおこわ販売(16日のみ) 	長岡市
10	28	土	地域交流会 (10:00～15:00)	バザー用品の寄付募集中! (ご家庭で眠っているものは、あり ませんか?) 	3施設合同

インフォメーション

■ホームページをリニューアルしました

アドレス：npokibou.com または、[希望の会福祉会](#)で検索
ガラリと変身したホームページをぜひ、ご覧ください！

■賛助会員入会のおねがい

賛助会員になっていただけませんか。
当法人の活動に興味を持って、賛同してくださる方。ぜひ、入会をお待ちしています。
年会費：一口 3,000円

■長岡しょう油おこわの注文承ります

長岡まつりや町内会の祭礼・行事に「長岡しょう油おこわ」はいかがですか。
インゲン豆・鶏ごぼう・まいたけ・五目の4種類を取り揃えて、ご用命をお待ちしています。
ぜひ、一度ご賞味ください。＜電話・ホームページからの注文もOKです。＞



[編集後記]

初夏の訪れとともに希望の会福祉会の会報<第1号>が誕生し、みなさまにお届けすることができて、編集員一同ホッとしています。まだまだ、未熟な会報ですが「一歩ずつ、未来へ」積み重ねていきたいと思っております。今後とも応援をよろしくお願いいたします。

編集委員：森田 高橋 矢尾板 小宮 佐藤

2017.7.15 NO.1

NPO 法人 希望の会福祉会
〒940-0061
長岡市城内町 3-5-11
北野ビル 2F
☎0258-89-7883



この度、希望の会福祉会会報第一号を皆様にお届けすることができ嬉しく存じます。

当会は平成24年3月にNPO法人の認証を受けましたが、その歴史は古く、精神衛生法から精神保健法に代わろうとする昭和59年に(株)東亜マッチ様のご協力によって、今朝白の地に「希望の家」が産声を上げました。

それから四半世紀以上を経、精神障害者を取り巻く環境や制度そして社会の意識も大きな変遷を遂げました。

現在、地域には多くの福祉サービスが用意され、精神科クリニックも増えていますが、果たして、利用者主体のサービスになっているだろうか、病状が悪化したとき、良質な精神医療が提供されているだろうか。と、我々は、常に問題意識を持って、原点に立ち返ることを大切にしたいと思えます。

去る、5月26日、第6回総会を開催しました。

「精神に障害を持つ人とその家族が安心して、豊かに、自分らしく暮らすことができる地域づくり」を目指し、「利用者自らの考え方や価値観、人生観に沿った支援、そして、主体的に意思決定ができる」よう伴走したいと考えます。

「ネガティブ・ケイパビリティ」という本が、精神科医によって出版されたのですが、

精神科医は、悩める現代人にとって最も必要であると考えるのは共感で、共感する力が養われていく過程で、「答えの出ない事態に耐える力」が大切だと言っています。すぐに答えは出ないけど、急がず、ゆっくり病気や障害に付き合っていこう、そのためには仲間が大切と、私流に解釈し、素敵な言葉なので、ご紹介しました。

(語源はイギリスの詩人、ジョン・キーツとのこと)



就労継続支援事業B型事業所紹介（希望の家・のぞみの家紹介）

就労継続支援B型事業所とは？

一般企業に雇用されることが困難な、障害者に対し、就労や生産活動の機会を提供し、個々人が、持っている力を発揮し、作業等を通して生きがいのある豊かな生活がおくれるよう、様々なサービスを提供します。

☆希望の家

サービス管理責任者 菊入恵

希望の家は、企業様からの受託作業やクロネコヤマトのDM便の配達、そして自主製品として「長岡しょう油おこわ」を製造・販売しております。

受託先の企業様は9社で、お菓子の箱の組立、シール貼り、缶切りの組立、お正月用品の形成、ネジ入れなど内容は多岐にわたっています。例年、年明けになると作業が激減するのですが、おかげさまで今年は滞ることなく作業が行えていました。利用者からは、「今年は仕事があって嬉しいよ。」「やっぱり早上がりするより仕事をしてたほうがいいね。」等の声があり、改めて仕事の確保の重要性を実感しました。

「長岡しょう油おこわ」は、今年度から販売先も増え、売り上げが順調に伸びています。最近は大口の予約注文が入り、休日に早朝出勤するなどありましたが、やりがいもあり、意欲的に取り組んでいます。ホームページをリニューアルし、大量注文にも応じられるよう台所の改修も行いました。今年度の目標は予約注文に力を入れ、利用者の工賃向上に努めていきたいと存じます。



☆のぞみの家

管理者 小黒和子

のぞみの家が、新町から現在の場所に移転し4年がたちます。その後「ふぁーれが」駐車場を挟んで開設し、福住、城内町の地域に3事業所がまとまることができ、便利になりました。

今年度、新職員2名を迎え、常勤職員5名、利用者24名でスタートしました。やや、緊張気味の4月が過ぎ5月のレクリエーションはボーリングと釣堀の2班に分かれて行いました。

年間行事では、食事会や散策、3事業所合同の旅行や地域交流会も計画しています。

作業面では、基板事業（パソコンの回収、解体事業）は、2020年開催の東京オリンピックで、廃家電の金属がメダルに使用されることになり、マスコミからも取材を受け、全国的に注目される活動になっています。



ご協力いただいている企業様が180社を超え、直接企業様に出向きおこなう出張解体は、好評をいただいております。

今年度より、アオーレにある「福祉カフェ りらん」で毎週火曜日の午後営業を担当することになり、初めての接客や販売に挑戦します。

☆地域活動支援センター ふぁーれ

相談支援専門員 丸山ゆかり

長岡希望の会の家族会の方たちの声が形になり、ふぁーれが開所されて3年目になりました。精神障害者の地域の中の居場所として、関係機関からの問い合わせが多くなり周知されてきている事に感謝しております。

現在、97名の登録者があり、毎日15名程度の方が利用されています。使い方も様々で、「お友達を作りたい」「休む場所」「来ることだけがまず目標」「就労前の生活リズム作り」「レクリエーションに参加したい」等。一人ひとりが主人公になり、その方にあった過ごし方をされています。

「エンパワーメント」と福祉の世界に入り、ずっと言われ続け私なりに理解していたはずの用語でしたが、最近この用語がようやくすとんと、私の中に入ってきたような気がしています。

生活のしづらさを抱えている者同士が、それぞれの欠けた部分を補い、理解し合い手をつなぎ合って悲しみを共感し、時には一緒に笑い、ぶつかる時もあります。そんなふぁーれ内での出来事を見て、人間らしいな~と思う事があります。視覚ではわからない障害に、地域に出ると沢山の苦しみがまだまだ存在しています。彼らは必死に自分で考え、立ち向かっている姿に、エネルギーを感じます。そのパワーを私自身も分けていただき、助けてもらう事も多いです。ここでは、彼らの持っている力（経験・苦しみ・技術・生活の知恵・・・等）が何か他の力に変えられる所でもあります。そんな支え合いのコミュニティが、ふぁーれ内からまずは長岡市全体の地域の中で広がって行く事を願います。



☆事務局の紹介

事務局 高橋正子

四月に「ふぁーれ」の二階南側に希望の会福祉会の事務局が誕生しました。見学されご存知の方もおられると思いますが、陽当たり良好、静寂・・・です。冷たいタイル張りの床を、木目フローリング調のクッションフロアに張替、応接セットをいただき、絵画を飾り、間仕切りのロールスクリーンをいれていただきました。

なんとということでしょう！！

落ち着いた雰囲気的空間が出来上がりました。（添付写真をご覧ください。）

事務局には、家族会の事務局もございますので、家族会の皆様も是非お立ち寄りくださいませ。



また、当法人が立ち上がったから5年が経過しましたが、福住・城内町の地域の方には大変お世話になっております。当法人にご意見・ご質問がございましたら、お気軽に事務局のほうにお越しいただきたいと思います。

※掲載されている利用者の写真は、ご本人の許可をいただいて掲載しています。